PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
中国国際センター（JICA 中国）

2017 年 2 月 10 日

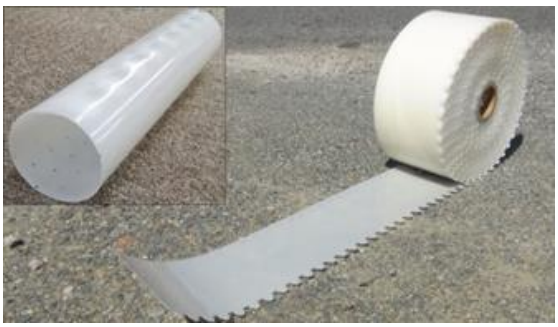
山口県発の土壌排水技術がインドネシアへ進出

～協和建設工業株式会社・山口大学連携案件～

国際協力機構（JICA）は 1 月 26 日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において協和建設工業株式会社（山口県萩市、田村伊正代表取締役）が提案する「農業生産性向上のためのシートパイプシステム導入に関する案件化調査」（インドネシア）を採択しました。

インドネシアでは 2007 年に米の自給を達成しましたが、近年は人口増加や生産性の低迷、気候変動に伴う生産の不安定性から輸入国に転じています。インドネシア政府は、排水不良によって生産性が損なわれている 350 万 ha もの水田の排水対策技術の導入を計画しています。

地元山口県や九州各県の排水対策事業で実績ある同社のシートパイプ工法は、専用重機でポリエチレン製有孔シートを土中に「引き込む」ことで土を掘削することなく、設置後に掘削部分の埋戻しが不要という特徴をもつ技術・製品です。インドネシア公共事業での採用（B to G）を目指してインドネシア農業省農業開発研究庁やボゴール農科大学をカウンターパートとして調査を行っていきます。



シートパイプ

インドネシア調整会議（農業省）

本調査は ODA 事業（同社の場合は JICA 普及・実証事業）に向けて製品を持ち込んでパイロット実証を行うことで適合性調査を行うとともに、投資や市場環境、法制度などについて情報収集・分析を行うものです。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2016 年度第 2 回分は昨年 9 月に公示を行い、36 件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査 2016 年度第 2 回公示の採択結果について
URL:https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001r9vne-att/investigation_160905_result.pdf

【本件に関する問い合わせ・申込み先】
JICA 中国　総務課　　担当：西山（案件担当）
TEL：080-5754-8534
E-mail：Nishiyama.Kineo@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ
元気をつなぐ JICA 中国
JICA 中国ウェブサイト